

天草の祇園橋

作詞 鶴田文史
作曲 小田原満

- 一、町山口の 川の流れに
人往き還る 祇園橋
天保の年に 最初に架けた
これぞ 天草島の 大石橋
- 二、本渡の町の 川の流れに
情緒をそそる 祇園橋
五本九列 四十五脚
これぞ 熊本県の 大石橋
- 三、天草島の 川の流れに
個性に満ちた 祇園橋
十連の桁 円弧の形
これぞ 国の重文 大石橋
- 四、日本の川に 架かる橋で
技すばらしき 祇園橋
日本に稀な 世界に誇る
これぞ 文化遺産 大石橋
- 五、いくたのあらし めげないで
流れに堪えた 祇園橋
これからもなお 存続されよ
これぞ 未来へかかる 大石橋

天草の祇園橋

作詞／鶴田文史 作曲／小田原満

The musical score is written in G major (one sharp) and 4/4 time. It begins with a tempo marking of quarter note = 86. The score consists of a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are written in hiragana and katakana below the vocal line. The piece includes a first ending (1. 3.) and a second ending (2. 2.) marked with a double bar line and repeat sign. The score concludes with a ritardando (rit.) and a fermata over the final chord.

史歌集 天草の心のうた より